

プログラム名 (40字以内)	地方から日本の食料生産の未来を考える		
団体名/所属	岩手県陸前高田市/大学院農学生命科学研究科		
活動区分	農林水産業などに関わる地域体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	1人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	私たちの食生活を支える農業および水産業に関心を持ち、現場での学びや対話に主体的に参加できること		
活動期間	・7月中旬:オンラインによるガイダンス ・7/28(火)~7/30(木):現地フィールドワーク(2泊3日) ・8月~9月:弥生キャンパスにて対面での報告会 ※ガイダンスおよび報告会の日程は、採択決定後に相談のうえ調整	主な活動予定場所	岩手県北上市・陸前高田市
プログラム実施の目的	岩手県内で農作物の研究開発や生産、養殖業、食品の加工販売に従事する方々、ならびに地方自治体の関係者との交流を通じて、都市の食生活を支える地域社会の現場を多面的に理解する。研究・生産・行政がどのように連携し、課題に向き合っているのかを実地で学ぶことで、日本の食料生産の未来を自らの問題として捉え直し、自分の言葉で整理し発信する力を養うことを目的とする。		
具体的な内容(800字程度)	【7月中旬】 オンラインにて、ガイダンスを実施(一時間程度) 【一日目・7月28日(火)】 9時頃東京駅発東北新幹線 → お昼頃に北上駅に到着 午後に岩手県生物学研究センター・農業研究センター見学(寒冷地のイネ、リンゴの育種等) タ方に陸前高田市に移動、市内にて宿泊 【二日目・7月29日(水)】 市内の養殖業施設(ニッスイ・理研食品)を見学 市内の水稲(たかたのゆめ)農家を見学 市役所訪問 市役所職員、市議会議員、商工会の方々とディスカッション 市内にて宿泊 【三日目・7月30日(木)】 市内のリンゴ農家を見学 市内の食品加工施設等(ピーカンナッツの加工と販売、栽培圃場)を見学 東北新幹線一ノ関駅まで移動 → 19時頃東京駅に到着 ＊現地での日程は、先方の都合や天候等により一部が変更になる可能性あり 【8~9月】 弥生キャンパスにて、対面での報告会を実施(2時間程度)		
【総額】参加するための費用	49,700円程度		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	14,000円程度(7,000円×2泊)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	28,700円程度(東北新幹線の東京駅~北上駅約14,300円+一ノ関駅~東京駅約14,400円)北上駅から陸前高田市内への移動、一ノ関駅までの移動等はレンタカーを利用予定で、学生の費用の負担はなし		
【内訳】参加するための費用(その他)	7,000円程度(食事代)		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	■研究・水産分野の取組 岩手県生物学研究センター https://www.ibrc.or.jp/ ニッスイによるサーモン養殖 https://www.nissui.co.jp/news/20251031.html 理研食品による「すじ青のり」の養殖 https://www.rikenvitamin.jp/news/news_file/file/230920.pdf		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	■農業・地域再生および復興の取組 陸前高田市のブランド米「たかたのゆめ」 https://takatanoyume.net/ 陸前高田市・米崎地区の「米崎りんご」 https://takanavi.or.jp/gift/vonesaki-apple/ 東日本大震災からの復興に関する記録(陸前高田市) https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/soshiki/tochikatsuyosuishinka/tochikatsuyokakari/3_2/7631.html		
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		